

## 2016 年度 入学 試験 問題

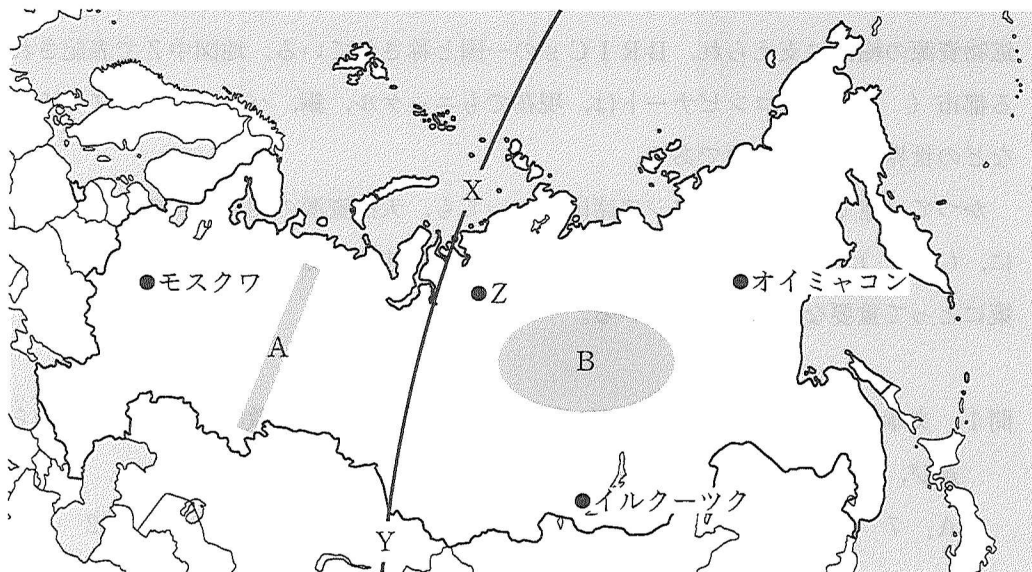
# 地 理 B

(試験時間 10:30~11:30 60分)

1. この冊子は、出願時に選択した科目の問題冊子です。科目名を確認のうえ、解答してください。
2. 解答用紙は、記述解答用紙のみです。
3. 解答は、必ず解答欄に記入してください。解答欄以外に書くと無効となりますので注意してください。
4. 解答は、HBの鉛筆またはシャープペンシルを使用し、訂正する場合は、プラスチック製の消しゴムを使用してください。
5. 解答用紙には、受験番号と氏名を必ず記入してください。



I 次の地図および文章はロシアと周辺諸国に関するものである。以下の問1～問5に答えなさい。(30点)



ロシアは世界最大の国土を有し、その面積は日本の約45倍である。そのため、( a ) 個の標準時に分けられ、行政上 ( b ) 個の連邦管区から構成されている。

ロシアの地形に着目すると、地図中Aで表記される ( ア ) 山脈の西側が ( i ) の東ヨーロッパ平原、東側が低平な ( ii ) からなる西シベリア平地と地図中Bで表記される ( イ ) 高原、さらに東側の極東ロシアでは変動帯の山脈や高原に分けられる。

歴史的にはロシア革命を経て ( ウ ) 年に成立したソ連のことを正式名称では ( エ ) といい、共産党による計画経済が進められてきた。しかし、経済の停滞や民族の対立を背景にして、1991年にバルト3国の独立を契機にソ連が解体され、さらに ( c ) 個の独立国が生まれた。

農業においては、ソ連時代は国営農場や集団農場などの大規模経営で計画的な生産・販売が行われてきた。集団農場のことをロシア語で ( オ ) という。ヨーロッパの南部から東にかけて肥沃な黒色土である ( iii ) が広がり、主に小麦が

栽培されている。

鉱工業ではソ連時代に重化学工業優先の政策が取られ、各地にコンビナートが計画的に配置された。ソ連が解体後、経済は停滞したが、近年では豊富な原油や天然ガス、鉱物資源の輸出に支えられ、BRICsの一国と称されている。地図中Zで表記される都市（カ）のコンビナートは、現在でもニッケル、銅、パラジウムやプラチナなどの世界有数の産出地である。

かつてソ連であった中央アジア諸国においても、天然資源の開発が重要である。特に、（キ）と日本の間では、ウラン鉱山の共同開発が実施され、日本の原子力政策にとって重要な意味を持っている。

問1 文章中の空欄（a）～（c）に入る最も適切な数を下記のA～Fから選び、その記号で答えなさい。

A. 7      B. 8      C. 9      D. 10      E. 11      F. 12

問2 文章中の空欄（ア）～（キ）に入る最も適切な語句や数字を記入しなさい。

問3 文章中の空欄（i）～（iii）に入る最も適切な語句を下記のA～Gから選び、その記号で答えなさい。

A. 構造平野      B. 卓状地      C. 楕状地      D. 準平原  
E. ツンドラ土      F. ポトゾル      G. チェルノゼム

問4 地図中の都市オイミヤコン、イルクーツク、モスクワの順で、それぞれが属しているケッペンの気候区分として最も正しい組み合わせを表1の選択肢①～④から選び、その記号で答えなさい。

表1

選択肢	オイミヤコン	イルクーツク	モスクワ
①	EF	ET	Dw
②	EF	Dw	Df
③	ET	Dw	Df
④	Dw	ET	Df

問5 地図中の X-Y 線は東経 80 度線を示している。東経 80 度線に沿ってロシアからカザフスタン以南で東経 80 度線上にある国の組み合わせを下記の A～E から選び、その記号で答えなさい。

- A. キルギス, 中国, インド, スリランカ
- B. ウズベキスタン, キルギス, タジキスタン, アフガニスタン
- C. ウズベキスタン, トルクメニスタン, アフガニスタン, パキスタン
- D. 中国, ネパール, インド, スリランカ
- E. 中国, ブータン, インド, バングラデシュ

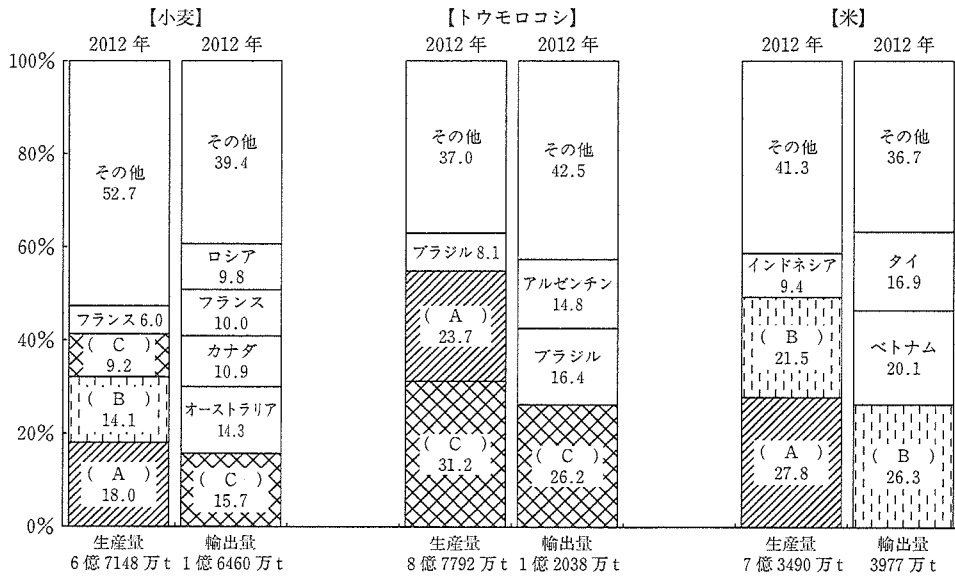
II 次の文章と図は三大穀物の生産や貿易に関するものである。以下の問1～問5に答えなさい。なお、文章中の( A )～( C )は図1の( A )～( C )を示している。(20点)

世界の三大穀物である小麦、トウモロコシ、米は農産物貿易の中心作物となっている。図1でそれぞれの生産量と輸出量をみると、小麦の生産量は( A )が最も多く、次いで( B )、( C )の順となっている。小麦は生産量のうちの約2割が輸出される国際商品であり、輸出国上位5か国で輸出量の過半を占めている。最大輸出国である( C )では大規模な企業的経営体が小麦を生産し、( ① )と呼ばれる少数の多国籍穀物商社が倉庫や輸送手段を有し、流通・販売を独占的に手掛けるほか、小麦の国際価格にも大きな影響を及ぼしている。

トウモロコシは生産量の約1割が輸出される作物であり、(1) ( C )が世界最大の生産国・輸出国となっている。トウモロコシは食料だけでなく、飼料やコーンスターチ、コーン油などの原料となっている。また、自動車燃料の原料として主に用いられている( ② )は、トウモロコシに含まれる糖を発酵させて作ったものである。さらに、近年では( ③ )技術による品種改良が進み、病虫害に耐性をもつトウモロコシが開発されている。ただし、この技術によって生産された作物は生態系へ影響を及ぼし、食品安全性の問題を起こす恐れがあるという意見がみられる。

(2) 米は平均気温が高く、<sup>かんがい</sup>灌漑用水が利用できる地域で主に栽培され、( A )や( B )、インドネシアの生産量が多い。しかし、米は生産量全体の5%程度しか輸出されない自給的性格が強い穀物であり、その生産の多くは零細で多数の家族経営によって担われている。米は穀物のなかでは土地生産性が高いうえに、栄養価も豊富であることから、多くの人々を養うことが可能である。高収量品種の開発・普及によって途上国の農業生産力を高めた緑の革命は、フィリピンに本部を置く国際稲研究所が行った稲の品種改良が契機となっている。

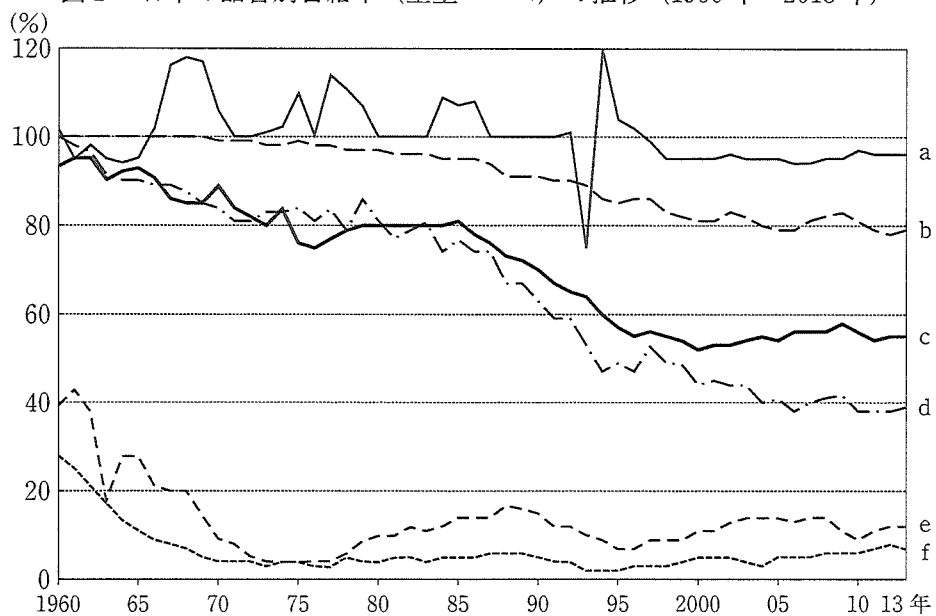
図1 小麦・トウモロコシ・米の生産量と輸出量



資料：FAO, FAOSTAT, <http://faostat3.fao.org/download/Q/QC/E>

- 問1 文章中および図1の ( A ) ~ ( C ) に入る国名を答えなさい。
- 問2 文章中の ( ① ) ~ ( ③ ) に入る最も適切な語句を答えなさい。
- 問3 下線部(1)に関し、( C )におけるトウモロコシ地帯で多くみられる大規模な肉牛の肥育場は何と呼ばれているか。その名称を答えなさい。
- 問4 下線部(2)に関して、中国南部から東南アジア、インドなどのアジアの広い地域で栽培され、世界で最も多く主食として食べられている米の種類を答えなさい。
- 問5 図2は日本の米、小麦、大豆、野菜、果実、肉類の品目別自給率(重量ベース)の推移を示したものである。このうち、米と小麦に該当するものをそれぞれ記号で答えなさい。

図2 日本の品目別自給率（重量ベース）の推移（1960年～2013年）



資料：農林水産省「食料需給表」より作成。



Ⅲ 次の文章と表は自動車の生産，輸出，販売および保有台数に関するものである。以下の問1～問3に答えなさい。なお，文章中の（ A ）～（ F ）は，表2の（ A ）～（ F ）にそれぞれ対応している。（30点）

表2によれば，（ A ）は，2013年の自動車の生産台数および販売台数で，（ B ）や日本を抑えて世界第1位の座を占めている。（ A ）は，それまでの閉鎖的体制を改めるべく1970年代末から市場自由化政策を導入し，外国資本の誘致を通じて，自動車産業を大きく発展させている。

（ B ）は，1910年前後に部品の統一と徹底した流れ作業によって組み立て時間を短縮し，低価格化を可能にした大量生産方式，いわゆる（ ア ）システムを導入し，安価なガソリン車の生産・供給を開始した。同国は，それ以降，1950年代頃まで世界の自動車産業で圧倒的な存在感を示してきた。

日本，ドイツ，韓国は，自動車の生産台数では世界第3位，4位，5位であり，輸出台数では世界トップ3に入っている。ドイツには，自動車産業で有名な都市がいくつかあるが，（ イ ）もその1つである。ドイツ南西部に位置し，ライン川の支流ネッカー川沿いにある商工業都市の（ イ ）には，同国を代表し，世界最古の自動車メーカーの1つといわれる企業の本社がある。韓国は，同国南東部の日本海に面した港湾都市（ ウ ）に，日本からの協力も得ながら，総合製鉄所を建設した。この韓国の鉄鋼企業は，現在，自動車用鋼板を生産し，世界の主要な自動車メーカーへ供給するまでに発展している。

（ C ）は，2003年に100万台を超えて以降，自動車の生産台数を急速に増加させ，2013年現在，世界第6位である。同国の自動車メーカーの1つは，2008年に世界最低といわれる価格の大衆車を発表し，2009年前後から発売を始めた。国土面積が広い（ C ）では自動車の製造拠点も分散しているが，南東部に位置する港湾・商工業都市の（ エ ）は同国における自動車の街の1つといえる。

新興国の1つとして台頭著しい（ D ）は，表2の通り，自動車の生産台数で世界第7位である。人口1,000人当たりの自動車保有台数が200台近くを記録し，（ C ）や（ A ）を上回り，それらの国よりも一足早く自動車が普及して車社会化，すなわち（ オ ）を迎えているといえよう。かつてはコーヒーに大きく依存

する経済であったが、とうもろこし、さとうきび、大豆、綿花等も栽培されるようになり、農業の多角化が進んでいる。同国は、(1)1995年に発効した、対外共通関税や地域内におけるモノ、サービス、労働力の自由市場をめざす地域経済統合の中心的な加盟国であり、周辺地域の中で、自動車産業をはじめ製造業部門をリードする工業国としても発展している。

( E ) は、(2)1994年に発効した、( B ) を含む規模の大きい自由貿易市場の形成を目的とした多国間の協定を活用しながら自動車の生産台数や輸出台数を拡大している。( E ) は、日本にとって2国目の経済連携協定の締結国である。

( F ) は、1980年代後半以降、日系をはじめ外資系自動車企業を多数受け入れ、「東洋のデトロイト」といわれるように自動車産業の一大集積地として発展してきている。自動車関連企業は、同国の首都圏、新興工業地域の東部臨海地域、そして(カ)といった地域に集積している。(カ)は、14世紀中盤から18世紀中盤過ぎまでの400年を超える間、王朝の都として栄え、またそれと一部重なる時期に日本人町が存在していた。( F ) は、2国間および多国間で多くの自由貿易協定を締結し、それらを利用して自動車の生産拠点としての魅力を高め、生産台数および輸出台数を伸ばしている。そのような(3)自由貿易協定の中の1つは、( F ) をはじめ近隣の国々によって1993年に締結され、それ以降、「1つの市場」を目指し域内の関税撤廃に向けて取り組みが続けられている。

表2 主要国における自動車の生産、輸出、販売および保有台数（2013年）

	生産台数		輸出台数 (1,000台)	国内販売台数 (1,000台)	人口 1,000人当たり 保有台数 (台)
	(1,000台)	対2000年比 (2000年=100)			
(A)	22,117	1,069	949	21,984	91
(B)	11,066	86	2,091	15,883	790
日本	9,630	95	4,675	5,376	603
ドイツ	5,718	103	4,405	3,258	568
韓国	4,521	145	3,089	1,544	394
(C)	3,896	439	671	3,241	20
(D)	3,737	221	591	3,767	198
(E)	3,052	158	2,423	1,101	285
(F)	2,457	596	1,128	1,331	208

注：この表の自動車は、乗用車、トラック、バスを含む。ただし、ドイツのデータは6トン以上のトラックおよびバスを含まない。

資料：生産台数と輸出台数は、日本自動車工業会、2015年、『世界自動車統計年報 2015年』。ただし、(F)の輸出台数は、APEC、20<sup>th</sup> Automotive Dialogue 資料、[http://mddb.apec.org/Documents/2014/AD/AD1/14\\_ad1\\_044.pdf](http://mddb.apec.org/Documents/2014/AD/AD1/14_ad1_044.pdf)。国内販売台数と人口1,000人当たり保有台数は、OICA、World Motor Vehicle Sales および World Vehicles in Use、<http://www.oica.net/>。

問1 文章中および表2の空欄(A)～(F)に入る国名を答えなさい。

問2 文章中の空欄(ア)～(カ)に入る最も適切な語句をカタカナで答えなさい。

問3 以下は文章中の下線(1)～(3)に関連した設問である。1)～3)のそれぞれに答えなさい。

- 1) 下線(1)が表わす地域経済統合の名称を欧文略語で答えなさい。
- 2) 下線(2)が表わす協定の名称を欧文略語で答えなさい。
- 3) 下線(3)が表わす協定の名称を欧文略語で答えなさい。

IV 次の文章と表は人種と民族，言語に関するものである。文章中の空欄（ 1 ）～（ 10 ）に入る最も適切な語句を，すべてカタカナで答えなさい。なお，文章中と表中の同じ記号には同じ語句が入る。（20点）

形質的，遺伝的に区分される人間集団を人種と呼び，言語や宗教，慣習などの文化的特徴によって区分される人間集団を民族と呼ぶ。

コーカソイド，ネグロイド，（ 1 ），オーストラロイドが4大人種と呼ばれる。概ね同じ人種で占められている国もあれば，多様な人種によって構成されている国もある。例えばラテンアメリカでは，多くの人種が混在しており，コーカソイドとネグロイドとの混血である（ 2 ）は，西インド諸島のいくつかの国やブラジルに多い。また，（ 1 ）に分類されるインディオとコーカソイドとの混血である（ 3 ）も中央アメリカに多く，メキシコでは人口の過半数を占めている。

次に言語の観点から民族を捉えると，言語学上いくつかの語族に分類される。この語族には（ 4 ）語族，セム語族，ウラル語族などがある。さらに語族はいくつかの語派に分類されることもあり，例えば，表3に示されるように（ 4 ）語族には（ 5 ）語派，（ 6 ）語派，イタリック語派などがある。（ 5 ）語派には（ 7 ）語，英語，ドイツ語，デンマーク語，スウェーデン語などが含まれ，（ 5 ）語派の言語を話す民族を（ 5 ）民族と総称することもある。（ 6 ）語派にはロシア語，ポーランド語，ブルガリア語，チェコ語などが含まれ，この言語を用いる民族を（ 6 ）民族ということもある。またイタリック語派には（ 8 ）語，（ 9 ）語，イタリア語，スペイン語，ポルトガル語が含まれる。（ 9 ）語は，ローマ帝国の公用語であった古代言語であるが，ヨーロッパ共通の文学用語として中世以降も普及し，現在でもバチカン市国の公用語とされている。

表4に示されるように，1つの国家が，それぞれ異なる言語をもつ複数の民族によって構成されている場合，それぞれの言語話者の民族間で対立することがある。例えばベルギーでは（ 7 ）語，（ 8 ）語，ドイツ語が公用語とされているが，（ 7 ）語系の言語を話す人々と（ 8 ）語系の言語を話す人々の間で言語紛争とまでいわれる対立がある。カナダでは国としては英語と（ 8 ）語が公用語とされているが，（ 10 ）州では，移民のため（ 8 ）語話者が多く，州としての公

用語は（ 8 ）語のみと定めており、カナダからの分離独立運動も起きている。

表3 （ 4 ）語族の主な語派

語派	言語
（ 5 ）語派	（ 7 ）語、英語、ドイツ語、デンマーク語、スウェーデン語など
（ 6 ）語派	ロシア語、ポーランド語、ブルガリア語、チェコ語など
イタリック語派	（ 8 ）語、（ 9 ）語、イタリア語、スペイン語、ポルトガル語など

表4 各国の公用語

国	公用語
ベルギー	（ 7 ）語、（ 8 ）語、ドイツ語
カナダ	（ 8 ）語、英語





